

## 1. 研究室概要

大学名	首都大学東京 大学院		研究者	井上 薫
			職位	准教授
研究領域	業療法学、医療福祉工学、作業療法教育学		窓口担当	産学公連携センター 草間 茂
研究キーワード	リハビリテーション、作業療法、ロボット、福祉用具、アシスティブテクノロジー、効果検証			
住所	〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10			
電話	042-677-2759	E-mail	kusama-shigeru@mj.tmu.ac.jp	
FAX	042-677-5640	URL	http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/a/296.html	

## 2. 技術PR事項

### 『高齢者や障がいのある方々の How to Live を支援します』

身体・精神・発達の各障害に関する研究から得られた知見をもとに、作業療法対象者に発生する各種の障害に対応した自立支援プログラムの開発に取り組んでいます。

#### 1. 概要

超高齢社会を迎えた我が国において、高齢者を対象とした作業療法の発展が要請されています。この分野では、バリアフリーやユニバーサルデザインというコンセプトで研究開発が進められていますが、多様な高齢者の障害の実態に対応するには、地域や生活実態に応じたきめ細かい、持続的な『在宅生活・介護』のプログラムを開発しなくてはなりません。作業療法の視点から障がい者・高齢者のニーズを商品開発へ活かす研究を進めています。

##### <研究内容>

- ◇福祉ロボット、アザラシ型メンタルコミットロボット(独立行政法人産業技術総合研究所、柴田崇徳博士)の認知症を有する高齢者への適用と効果検証(図)
- ◇バーチャルリアリティ技術を活用した認知機能・上肢機能評価トレーニングシステムの臨床応用



図. アザラシ型ロボット パロ

#### 2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

◆福祉用具の共同研究を希望します。また、施設・設備の整備、作業療法士についての相談を承ります。

##### 連携内容

・リハビリテーション ・作業療法 ・福祉用具  
・アシスティブテクノロジー ・効果検証

##### 相談分野

作業療法に関連した医療・福祉用具開発・改良に関するご相談

## 3. 特記事項

●代表論文:伊藤祐子, 井上 薫, 三浦香織, 山田 孝, 品川俊人, 米田隆志:発達障害児の平衡反応に対する評価・支援システムの開発—感覚統合の視点から—, 日本保健科学学会誌第9巻3号, 164-169, 2006.